

未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマB：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

		整理番号	B - 5
申請担当大学名 (連携大学名)	新潟大学 (新潟医療福祉大学、新潟薬科大学)計3大学		
事業名	オール新潟による『次世代医療人』の養成		
事業責任者	医歯学総合病院 経営企画課長 高見澤 昭彦		
事業の概要			
<p>本プログラムでは、先の補助金において確立した多職種連携と、医歯学総合病院としての強みを活かした医歯学連携による口腔ケア、保健学科や県内の医療系大学との多職種協働、地元自治体や医師会及び住民等と連携したオール新潟体制を事業基盤とする。これにより幅広い総合診療能力に加えて機能維持、機能回復の視点による生活不活発病予防などの予防活動を学ぶ卒前、卒後の一貫した実践プログラムを設定し、これを通じて超高齢化社会の住民を支え、『健康長寿社会』の実現に寄与する医療人を養成することを目指す。新潟県の高齢化の現状は20年後の日本であり、今後急速に進む都市部の高齢化にいち早く取り組み、住民に寄り添うマインドや予防医療の視点、地域の課題に柔軟に対応する力を持ち地域医療のリーダーとして活躍する総合診療医の養成を行うことは、日本の未来医療のモデルとなる。</p>			
推進委員会からの主なコメント ：優れた点等、 ：改善を要する点等			
<p>誤嚥性肺炎、口腔ケア、リハビリを重視したことは健康寿命の増進の点で優れている。 医歯学、医療系大学、地元自治体、医師会、住民を含んだオール新潟体制を基盤とする点は優れている。 すでに始めている研究（佐渡プロジェクト、魚沼コホートスタディ等）というソフトや今後整備される施設というハードが存在するという点で実効性が高い。 既に各種連携が築かれていること、新潟県の持つ多様性から、プログラムの効果が期待できる。 多面的に教育プログラムを評価する体制を構築している。 地域の医療ニーズの具体的な把握方法を明確にすることが望ましい。</p>			